

評価項目表

委員1人あたりの点数は、各項目の点数（3点満点）の合計点数（30点満点）とする。プレゼンテーション評価は、委員5名の合計（150点満点）とする。

評価項目		通番	評価基準
視認性	教職員・司書向け画面	①	色づかいや文字の大きさ、構成等、教職員・司書が使う画面の見やすさ・分かりやすさについて
	児童生徒向け画面	②	小学校低学年でも自ら利用できるよう配慮された、グラフィカルで分かりやすい画面であるかについて
操作性	カウンター業務の操作性	③	貸出・返却・予約等の一連の操作の手順の簡潔さ・分かりやすさが感じられるかについて
	児童生徒による検索・貸出操作	④	児童生徒自身が検索・貸出等の操作が簡潔で迷わず操作できそうかについて
運用効果	現場業務の負担軽減効果	⑤	学校現場（司書・教職員）の業務負担がどの程度軽減されるか、その説明の説得力について
	児童生徒への教育効果	⑥	読書活動の推進、学習活動への活用など、児童生徒にとっての効果・メリットについて
事業実現性	導入・移行スケジュール	⑦	全28校への導入スケジュールが現実的か、無理のない計画になっているかについて
	データ移行の確実性	⑧	現行システムからのデータ移行方法・リスク対応について、説明が具体的で安心できるかについて
保守	保守・障害対応体制	⑨	保守サポート体制、障害発生時の体制、サービス品質（稼働率・目標復旧時間、目標復旧ポイント）について
機能性	独自機能・提案機能	⑩	要求機能一覧にない機能で、標準機能または無償オプション機能により利便性の向上、業務効率改善などに寄与する有益な機能の提案があるか